

天橋立の内海「阿蘇海」をみんなで守りましょう!!

山、まち、水田などから川に窒素、リンが大量に流入。この富栄養化現象で、阿蘇海では、アオサの大量繁殖による腐敗臭、水中酸素不足による無生物化が進んでいます。



水田などから、漏水などによる肥料、農薬の流出

森林の管理不足により昼間でも薄暗い林内

→草などの下層植生が育たず土壌が露出するため、雨水により土砂や養分が流出



ゴミの不法投棄



炊事、洗濯、入浴など、生活雑排水



道路や屋根・側溝のゴミやほこり、また大気中の排ガスなどが雨水に含まれ、汚水となって流入

見た目はきれいですが、阿蘇海ではこんな症状が現れています。



風が強い日の翌日の天橋立は、ゴミの山。



アオサが大量に繁殖。海岸に打ち寄せ、悪臭の元に。



カキの大量繁殖。海上にまで。



集めればゴミゴミゴミ。

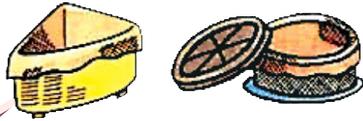
これ以上汚さないために、今、私たちにできることを行動に。

今すぐ始めよう! できることから

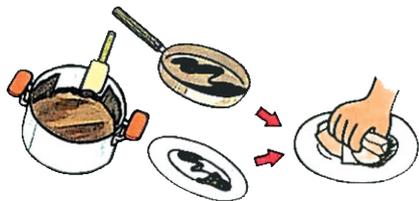
まずは節水、次に水を汚さない工夫を

台所では・・・

- 1 三角コーナーや排水口に水切り袋をかけて、細かい調理くずを流さないようにしましょう。



- 2 食器やなべについた汚れはふき取ってから洗いましょう。



- 3 米のとぎ汁は植木の水やりなどに再利用しましょう。

- 4 料理は人数分だけ作りましょう。

- 5 材料は丸ごと使い切る、省エネ調理、油・調味料は使い過ぎないなどのクッキングを心がけましょう。



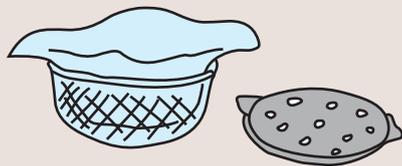
そのまま流していませんか。
魚が住める環境に戻すには、
これだけの水が要ります!

使用済み油 (20ml) を流せば、浴槽20杯の水が必要。
炒めもので使い切るという工夫や専用回収BOXでの回収をお願いします。

さらに生活で工夫できること

(環境省：生活排水読本から)

お風呂では・・・

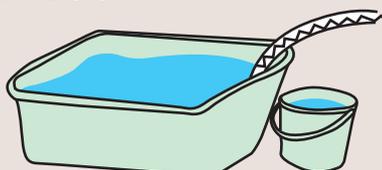


髪の毛などは排水口に目の細かいネットを張ってキャッチ。



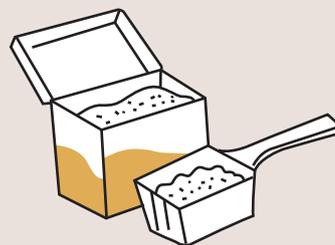
シャワーや水栓は流しっぱなしにしない。使用回数や時間を減らしましょう。

シャンプー・リンスは適量を守りましょう。



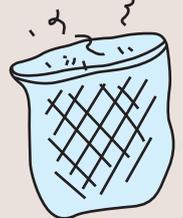
お風呂の残り湯は洗濯に。温水なので汚れ落ちがよくなります(衛生上、すすぎは水道水で)。

洗濯では・・・



洗剤は計量スプーンでしっかり計って。多く入れても汚れ落ちがよくなるわけではありません。

くず取りネットを取り付けて、細かいごみをキャッチ。



【お問い合わせ】
阿蘇海環境づくり協働会議事務局
☎(0772) 62-4300